

# 脳卒中を予防しましょう

岩手県は、全国の中で脳卒中死亡が多い県です。

男性はワースト（脳卒中死亡が多い方から）3位、女性はワースト1位！（H29年のデータ）

軽米町は岩手県の中でも脳卒中死亡が多い町です。国を100とした時、軽米町は2倍以上の死亡率（233.8）となっています。

☆ 脳卒中（=あたる）とは・・・

- **脳梗塞**・・・**脳の血管が詰まる**
- **脳出血（脳溢血）**・・・**脳の血管が破れる**
- **クモ膜下出血**・・・**脳表面の血管が破れる**

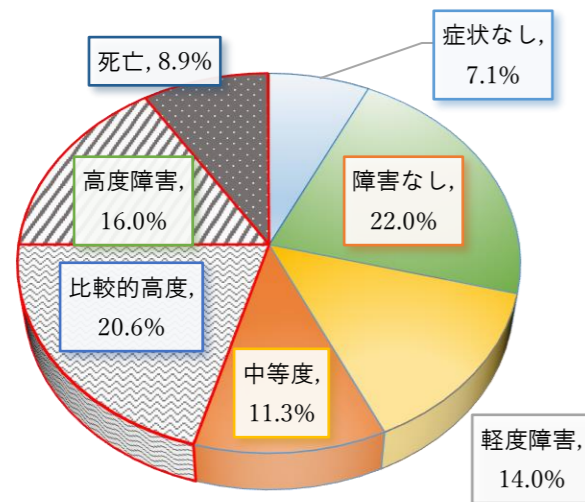
（多いのは**脳動脈瘤破裂**によるもの）

軽米町で多いのは、**1.脳梗塞 2.脳出血 3.クモ膜下出血**。

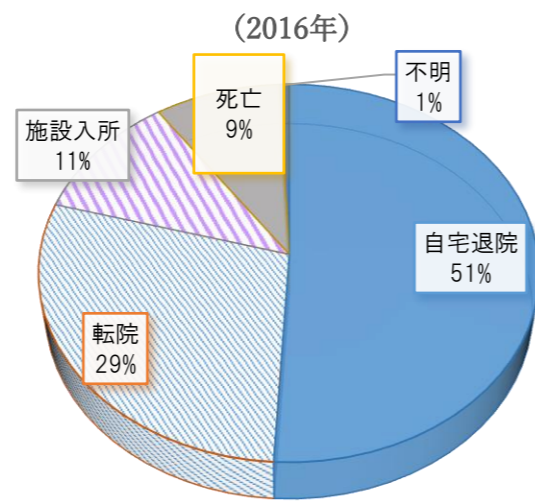
脳梗塞は男性に多く、脳出血は女性に多い傾向があります

《出典：脳梗塞発症後の状況 2016年岩手県地域脳卒中登録事業報告書より》

脳梗塞 臨床診断別転帰の状況（2016年）



脳梗塞臨床診断別社会的転帰の状況（2016年）



『脳梗塞になった方の**約半数（45.5%）**が**高度障害または死亡**している』、『脳梗塞になった方の約半数が自宅に退院、3割が転院、1割は施設入所』という事がデータからわかります。

☆ **脳梗塞**にも原因別に種類があります。

**ラクナ脳梗塞**（脳の細い血管が詰まる）は男女とも40歳代～60歳代に多いようです。

**アテローム血栓性**（脳の太い血管に血栓ができて詰まる）は70歳代男性・80歳代の男

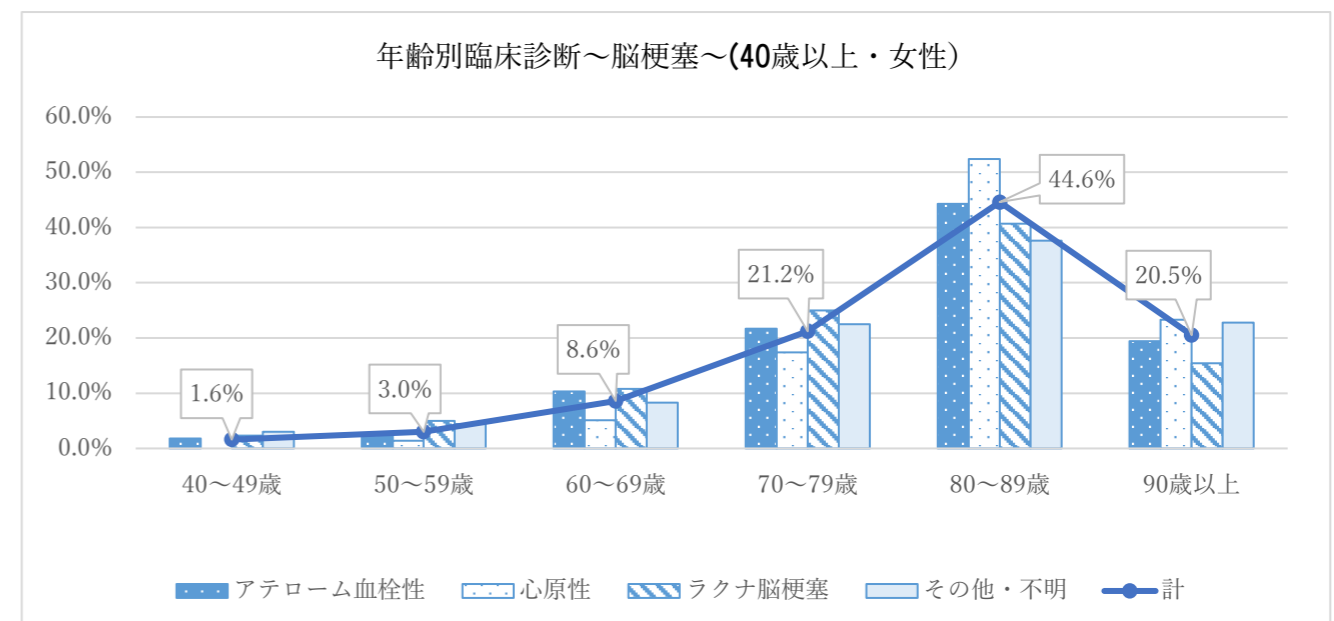
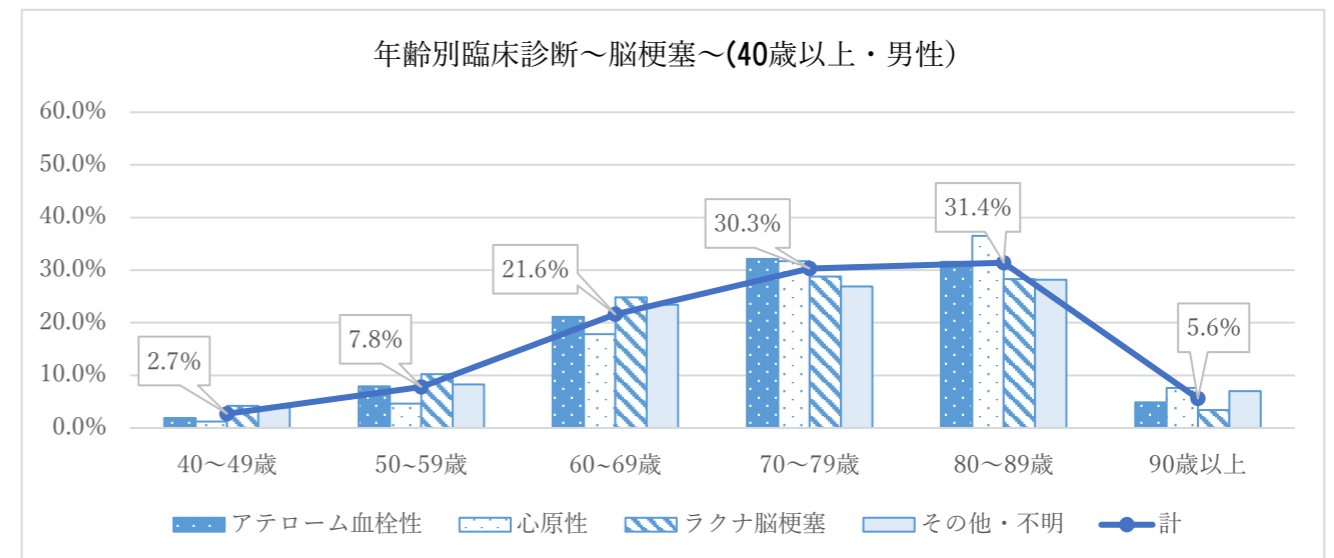
女に多く、男女とも年齢が上がるにつれ**心原性**（不整脈等で血栓ができ、その血栓が脳に飛んで脳の太い血管が詰まる）脳梗塞の割合が多くなっています。

脳の太い血管が詰まると、脳の**損傷**の程度も大きくなります。

脳梗塞も脳出血も、発症は40歳代～70歳代までは男性の方が多く、**80歳代**

**以降は女性の方が多くなっています。**

◆岩手県の脳梗塞の状況…



《年齢階級性別臨床診断 2016年岩手県地域脳卒中登録事業報告書よりグラフ化》

## ☆ 脳卒中になると…

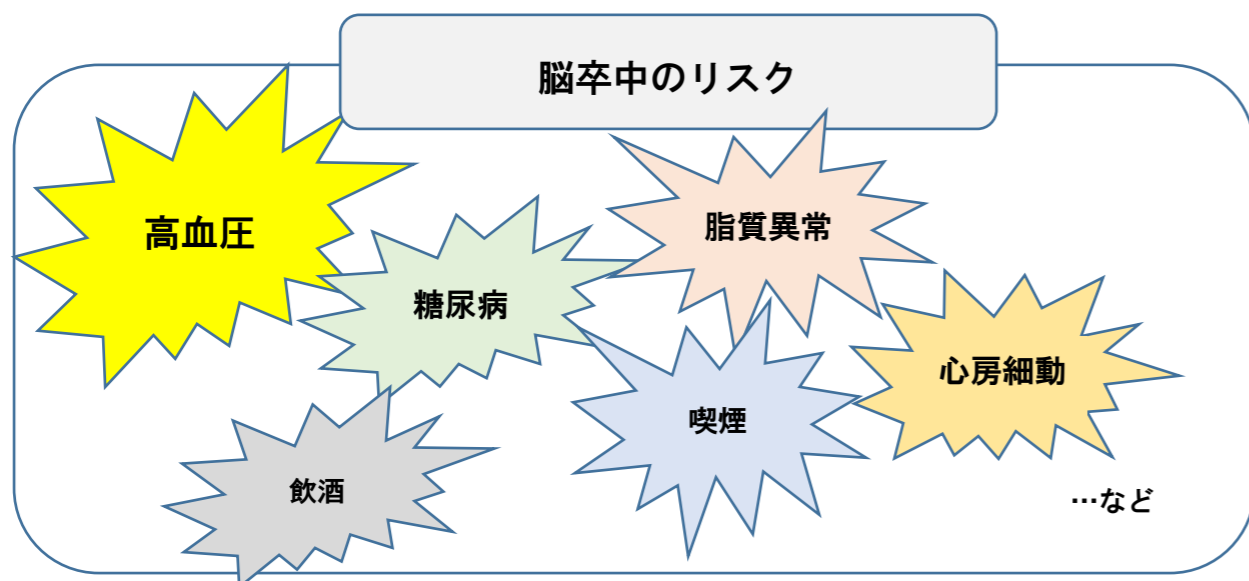
脳の血管が詰まると血流の届かない部分が壊死<sup>えし</sup>してしまい、体の麻痺<sup>まひ</sup>が起こり、最悪の場合には死に至ることもあります。また、脳出血<sup>いた</sup>が起こると頭蓋骨<sup>ずがいこつ</sup>の中にたまった血液が脳を圧迫<sup>あつぱく</sup>し脳細胞<sup>のうさいぼう</sup>を壊<sup>こわ</sup>してしまいます。脳梗塞<sup>のうこうそく</sup>の後遺症<sup>こういしょう</sup>には、手足の麻痺<sup>てあし まひ</sup>のほか、言葉が出にくい、食べもの等の飲み込みが悪くなる、認知症<sup>にんちしょう</sup>など様々な症状があり、寝たきりの原因の第1位となっています。後遺症<sup>こういしょう</sup>の症状の程度は脳が損傷<sup>そんしょう</sup>した場所や程度、リハビリの効果等により変化があり、人によって様々です。

## ☆ 脳卒中の原因は？

脳出血の大半と脳梗塞は、主に動脈硬化<sup>どうみやくこうか</sup>によって起こります。

動脈硬化<sup>どうみやくこうか</sup>は、高血圧<sup>こうけつあつ</sup>や糖尿病<sup>とうようびょう</sup>、脂質異常症<sup>しつじょうじょう</sup>などの生活習慣病<sup>せいかくしゅうかんびょう</sup>によって、長い間に少しずつ血管<sup>けっかん</sup>が傷つき、固くもろくなったり、血栓<sup>けっせん</sup>ができやすくなったりします。動脈硬化<sup>どうみやくこうか</sup>になっていても、それ自体は自覚<sup>じかく</sup>症状<sup>しょうじょう</sup>がほとんどありませんので、自分では気が付きにくいものです。

また、不整脈<sup>ふせいみやく</sup>（特に心房細動<sup>しんぼうさいどう</sup>）等の心臓病<sup>しんぞうびょう</sup>をわずらっていると、心臓内で血が固まりやすく、血栓<sup>けっせん</sup>ができやすいとされています。



## ☆ 脳梗塞の診断と治療は時間勝負!!

脳卒中の症状はある日突然<sup>とつぜん</sup>起こることが多いですが、脳梗塞の場合、前触れ<sup>まえぶ</sup>として『一過性脳虚血発作<sup>いっかせいのうきょけつほっさ</sup> (T I A)』が起こる人が多いことがわかっています。

一過性脳虚血発作<sup>いっかせいのうきょけつほっさ</sup>は脳梗塞と同じような症状が短時間（多くは数分～数十分）起こり、一旦は回復しますが、回復したからと病院に行かないでそのままにしていると、48時間以内に脳梗塞を起こす人が多いという報告もあり、また、3ヵ月以内に2割ほどの人が脳梗塞を発症するということもわかっています。

### 疑われる症状

- ☑片側の手足・顔のまひ
- ☑ろれつが回らない、言葉が出ない
- ☑片側の手足・顔のしびれや感じ方がにぶくなる
- ☑片方の目が見えにくい、片側にあるものがみえない

こういった症状が現れた場合は、おさまったからと放置せずに病院を受診しましょう。

また、何の前触れもなく脳梗塞の症状が現れた場合は、『一刻も早く初期治療を受けること』が大切です。

ご自分に症状が現れた場合はすぐにまわりの人に助けを求め、できるだけ横になり救急車<sup>きゅうきゆうしゃ</sup>で病院に行きましょう。家族の方に症状が現れた場合は、まず119番に電話して救急車を呼び、吐いたもので窒息<sup>ちっそく</sup>しないよう横向きに寝かせ、救急隊を待ちます。軽症と思われる場合も、途中で容体が変わることがあるので救急車を呼びましょう。

### ☆ 脳梗塞の初期症状 F A S T



**F**ace(顔のまひ) **A**rm(うでのまひ) **S**peech(ことばが出ない) **T**ime(発症時間)

**に注意!!** 顔・うで・ことばの症状一つでも出ていた場合は脳卒中の可能性が高いので、すぐに救急車(119番)を呼びましょう!

[この内容は、国立循環器病研修センターホームページ 循環器病情報サービスの内容を一部引用しています。]